

# そでさき まち協 たより

袖崎まちづくり協議会（平成26年2月現在）  
部会数 7つ  
委員数 160名（のべ）（袖崎まち協）

## 地域見守り支援会議を開催

2月3日、村山市社会福祉協議会で地域住民同士の高齢者見守り支援を更に発展・強化できる体制づくりを目的に『袖崎地域見守り支援会議』を開催しました。会議には地区長・民生委員・いきいきネットワーク推進員・サロン代表者・地域内事業者ら21名が参加。地域高齢者の支援について、現状や課題などを話し合い、地域での見守り等についてみんなで考える機会となりました。

## 袖崎ほっとな雪まつり開催

2月8日・9日、袖崎ほっとな雪まつり(安達敬太郎実行委員長・本1)を開催しました。8日には子供会育成会の『雪ん子まつり』スノーフラッグ・スノーモービル体験を行い、子供たちの歓声が響いていました。たくさん遊んだ後は、地元のおそば屋さん『ゆきむろ』の赤塚信一さん(土6)と、佐藤俊直さん(土2)のご協力による『手打ちそば振舞い』。美味しいおそばにみんなお腹も笑顔もいっぱいでした。

9日は、開会式で幕を開け、式上で初めて洗心倶楽部より『小中学生じょんだ作品の紹介』があり、美術展などで入賞を果たした小中学生に対し会場のみんでその栄誉を讃えました。その後『さくら洗心会(成原キヨエ代表・本2)』と『袖崎民謡愛好会(岩崎亮会長・本2)』の踊りと歌が披露され、続いて、『袖崎小6年生女子児童』がダンスを披露。会場が一気に華やかな雰囲気になっていました。そして、『洗心座(秋葉新一座長・土6)「君にもらった明日」(永井雄大・土5脚本)』公演が行われました。夫婦の絆と不思議な運命が見事に絡み合った物語の演劇が披露されると、会場は感動に包まれ大きな拍手が送られていました。また、今年も『女川町復興支援交流(代表杉本信度・土5)』として被災地写真展と物産販売が行われ、今年初の試みとなった蒸しカキ・ムール貝コーナーも大盛況！地域の方々には女川町の特産品を買い求めたり、熱々の蒸し貝に舌鼓を打っていました。また、五十沢地区を中心に袖崎と交流している芸工大交流サークルMAGの学生も雪灯ろうまつり(須藤罔昭安協袖崎支部長・本3東)の雪像製作やじょんだ文化展の運営協力など袖崎地域との交流を深めていました。もちろん今年も安協袖崎支部による『玉こん振舞い』、そでさき元気っ子『駄菓子屋さん』は大盛況でした！今年もたくさんの来場を頂き、冬の時期に地区民の楽しめる「ほっとな」雪まつりとなりました。(袖崎ほっとな雪まつり実行委員会)



## 多様な出展作品がズラリ！ 袖崎じょんだ文化展

2月9日、公民館部会（安達敬太郎公民館部会長・本1）で今年も袖崎小体育館を会場に文化展を開催しました。今年の出展作品も本格的な写真集から絵画、版画、書道、弦細工、手芸作品、ボタニカルアート、ドライフラワー、しめ飾り、演劇の台本や壁新聞など、幅広くたくさんの作品を地域の皆さんから出展いただきました。また、今年も児童センターの園児や学童・袖崎小の児童、楯岡中の生徒の皆さんより絵やバッグ・タペストリー、書き初め、俳句・標語など多くの出展をいただきました。さらに今年は、芸工大MAGの皆さんも初出展。さすがは芸大生！絵画から鍋やコップなど個性的で本格的な作品の数々で来場者を楽しませてくれるなど、昨年以上に多様で華やかな文化展となりました。



皆さん、たくさんの素晴らしい作品の出展、本当にありがとうございました！

（袖崎まちづくり協議会公民館部会）

## 在宅介護をしている家族の交流

2月23日、福祉部会（橋本幸一部会長・高玉）にて自宅で介護をしている方の日頃の疲れを癒していただくことを目的に交流会を開催しました。



今年は楯岡俵町のグループホーム『香紅の里』の職員の方々より介護についてのお話を聞いた後、筋力アップやリハビリなどで幅広く使われる伸縮自在のラバー『セラバンド』を使った体操を教わり心身のリフレッシュをしました。

また、情報交換会として昼食会をおこない参加された皆さんは和やかに会話を楽しんでいました。

（袖崎まちづくり協議会福祉部会）

## 3月の主な行事予定

- 3月 2日 市雑紙回収（第3回目）
- 4日 民生委員児童委員定例会（市民センター）
- 6日 環境部会総会（市民センター）
- 7日 歴史部会総会（市民センター）
- 9日 地区婦人会総会（市民センター）
- 11日 保健委員会（市民センター）
- 12日 防災部会総会（市民センター）
- 13日 公民館部会総会（市民センター）
- 12・13日 市税務相談（市民センター）
- 16日 楯岡中学校卒業式
- 18日 袖崎小学校卒業式
- 18日 福祉部会総会（市民センター）
- 下旬 雪部会総会（市民センター）



2月9日 洗心座公演『君にもらった明日』